ＯＢ会だより

第 54 号

〈発　行〉
京都外国語大学
能楽部OB会広報部

第五十四回外大能十二月九日(土)於河村能舞台

平素より、京都外国語大学能楽部ＯＢ会の運営にご協力とご理解を頂き、心から御礼申し上げます。

今年は橋本忠樹先生の独立十五周年・初舞台四十周年という、大変な節目の年でありました。三月に開催されました華やかな舞台の様子は6頁に紹介しておりますので、是非ご覧ください。室町時代より六百年以上も連綿と続いてきた能楽文化の一端を感じ取れるのではないでしょうか。

さて、十二月九日(土)午後一時より、河村能舞台において第五十四回外大能が開催されます。今年の能楽は「半能 巴」です。また、舞囃子「吉野天人」を始め、多数の仕舞が披露されます。初々しい現役部員の晴れ舞台、どうぞ温かく見守ってください。

ＯＢ会からも仕舞や能の地謡等、多くの出演が予定されております。年末の慌ただしい時期ではありますが、ひとりでも多くのＯＢ・ＯＧの皆様に ご来場頂きますよう、お願い申し上げます。



巴御前(イメージ)

今号の注目記事

能楽部ＯＢ会会長ご挨拶…1P／部長挨拶・現役部員の外大能への意気込み・校友会HP…2P
黒川能レポート…3P／新ＯＢ会員紹介・ＯＢ交歓会…4P／ＯＢ懇親会と第九回ゆかた会開催…5P
忠樹先生の記念舞台をレポート！…6P／忠樹先生重要無形文化財総合指定と礒道先生喜寿のお知らせ…7P
第54回外大能番組紹介…8P

人生の宝物「能楽部」に出会えた事に感謝！



ＯＢ会会長　島谷 直見

平素は京都外国語大学能楽部ＯＢ会へのご支援ご協力を賜り、誠に有り難うございます。

今年も早や、「ＯＢ会だより」発行の季節を迎えました。同時に「外大能」が間近に迫ってきた事をしみじみと感じます。学生のクラブ離れが進む中、我が能楽部の現役部員は、外大能へ向けて明るく楽しくお稽古に励んでいる事を、まず皆様にお伝えしたいと思います。

今年は半能「巴」、舞囃子は「吉野天人」、仕舞は七番、また、恒例となりましたがＯＢ仕舞も九番出ます。上回生が少ない事が残念ですが、元気な下回生がクラブの雰囲気を盛り上げています。

また、今年は講師の橋本先生ご一家、親子三代の素晴らしいご活躍を、大いに楽しみ大いに祝った一年でもありました。

卒業して年月を経る毎に、この能楽部に入部した事の意味と意義を強く思います。そして、この人生の宝物である「能楽部」に出会えた事に、心より感謝しています。

皆様、今年も十二月九日開催の「外大能」、河村舞台でお会いいたしましょう。皆様に出会えますことを、楽しみにしています。

脚注：イメージ写真は巴御前出陣図(東京国立博物館所蔵)

ＯＢ会の諸先輩方へ

部長　村上　円香



今年の外大能は、半能『巴』舞囃子『吉野天人』、仕舞七番、そしてＯＢ、ＯＧの方の仕舞九番となっております。今年度も多くのＯＢ、ＯＧの先輩方に御出演して頂けることを、大変嬉しく思っております。

私達は、日々本番に向け練習に励んでおります。今年は上回生が少なく、私自身も就活があり部室に顔を出せない日が多くありました。少し不安な気持ちはありますが、本番では納得のいく舞台になるよう、部員一同一丸となって頑張っていく所存です。

御多忙中とは存じますが、一人でも多くの先輩方にお越し頂けますと幸いでございます。部員一同御来場を心よりお待ちしております。

現役部員の外大能への意気込み【能「巴」に惹かれて】

半能「巴」

シテ　村上　円香

はじめに、このような貴重な機会を下さいました、橋本礒道先生、橋本忠樹先生をはじめ諸先生方、御出演、御協力いただきました先輩方に、深く感謝致します。第五十四回外大能にて半能「巴」の後シテを勤めさせていただく村上と申します。

二回生で「巴」の仕舞を観た時から、巴御前の力強さと女武将というところに惹かれ、いつか演じてみたいと憧れていました。しかし、同回生が辞めてしまい、一人でできる能をと考えており、半能という形で憧れであった「巴」の後シテを勤めさせていただくことになり、とても嬉しくもありました。半ば諦めていたところ、



夏合宿にて（オタイコヒルズ）

くれているところから一転、最後の奉公として長刀を持ち戦うそのあたりの緩急の付け方の難しさや初めての長刀に戸惑うことばかりですが、やればやるほど巴御前の義仲を思う心に惹かれ楽しく練習させて頂いております。巴御前の義仲に対する思いや、共に自害させてもらえない悲しみ、後ろ髪を引かれつつ去っていくところを表現できるように練習に励みたいと思います。

実際演じてみると、悲しみに

校友会のホームページでＯＢ会だより紹介

皆さん、外大校友会のホームページをご存知ですか？校友会の活動のほか、様々なクラブや学科のＯＢ会の活動などを見ることが出来ます。

今回、特に皆さんに知って頂きたいのはこのホームページで「ＯＢ会だよりのバックナンバーを見る事が出来る！」という事です。外大校友会会長でいらっしゃる島谷先輩の働きかけと校友会事務局のご協力によって、約二年前に実現しました。

今号で第54号になるＯＢ会だより。大変貴重な昭和五十二年九月発行の第1号から掲載されています。第1号は手書きだったのですね。他にも沢山クラブがありますが、これほどしっかりしたＯＢ会だよりを発行し続けているクラブは能楽部以外にないと言っても過言ではありません。

コラム

能古来の姿を今に伝える「黒川能」

広報部　橋口莉奈

山形県鶴岡市、冬は辺り一面が雪で覆われる黒川という土地では、「黒川能」と呼ばれる芸能が伝わっている。五流にはない伝承や廃曲になった演目を数多く残し、五百年もの間人々が守り伝えてきた。古い能の姿を現代に伝えているとして、国指定重要無形民俗文化財に登録されている。

七月二十九日に催された「水焔の能」で、私は初めて黒川の里を訪れた。この日の演目は能二番。『木曽願書』はシテ：源義仲が平家との戦（倶利伽羅峠の戦い）を前に八幡宮へ戦勝祈願の願書を奉納するが、現行曲『木曽』でのシテは覚明という僧。後半には戦いの場面も入るなど、現行の『木曽』とは舞台展開が大きく異なっている。



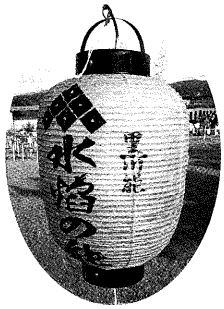
黒川能（水焔の能）案内チラシ

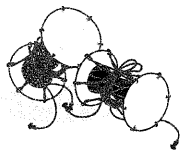

黒川能（イメージ）

『獅子』は、紅白の獅子がダイナミックかつ優雅に舞い遊ぶ。現行曲では『石橋』に似ている演目だが、これも細部の展開が異なっている。五流では既に廃曲になっている稀曲だ。

会場には屋台が並び、食べ物や酒を片手に能を観賞するのが黒川能スタイルなのだという。謡いや語りは訛りが強く、囃子も「ハー」「ホー」といった掛け声でゆったりとし、笛は普段聴き慣れている音よりも低く聴こえる。見るもの・聴くもの全てが新鮮で、どの流派にも属さず独自の伝承が受け継がれてきたことを、肌で感じられた。

今も昔も、黒川能は神へ奉納する神事能である。毎年二月、春日神社で行われる「王祇祭」では、能五番が夜通し舞われ全国各地からファンが集まる。親から子へ、子から孫へ。そうして五百年受け継がれてきた伝統は、今も人々を魅了している。





所々抜けている号がありますので、皆様の中でお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご報くださいませ。また、ＯＢ会の活動報告として近況を知る事が出来るページもございますので併せてご覧ください。



（表紙抜粋）

京都外国語大学校友会の能楽部紹介
http://www.kufs.ac.jp/koyukai/move/club/nougaku/
過去のOBだより
http://www.kufs.ac.jp/koyukai/move/2016/11/1977.html

新OB会員紹介

※五十音順

会員 No.163
木俣　悠



会員 No.164
谷口詩歩

※諸事情で挨拶を掲載出来ませんでした。

この三月に大学を卒業し、ＯＢ会に入会致しました、谷口詩歩と申します。現在は就職し、日々社会の大変さや楽しさを感じています。それと同時に、最近は能楽に触れる機会が減ってしまい、寂しく感じていました。そのような時に、原稿のご依頼をいただきました。久しぶりに四年間の部活動のことを思い出す機会をいただき、大変有難く思います。

能楽部で過ごした四年間は、本当にあっという間で、たくさんの思い出が詰まった四年間でした。日々部員と練習に励んだことは、私のなかでとても色濃く残っています。

回生が上がっていくごとに、難しさや自分の頼りなさに悩んだこともありましたが、いつも賑やかに一緒に活動してくれる部員が居てくれたおかげで居心地よく、楽しく活動することが出来ました。四回生の時の能楽では、ＯＢの先輩方に地謡にご参加いただきました。毎週仕事終わりにもかかわらず部室に来てくださり、夜遅くまでお稽古をしてくださった先輩方には本当に感謝しております。また、お稽古以外の場面でも声をかけてくださったり、助けていただいたりと大変お世話になりました。

寒い季節になると、外大能のことを思い出します。後輩たちが今頑張っていると思うと、自分も頑張ろうと励まされます。

今はなかなか関わることが出来ていませんが、今後は少しでも能楽部の行事に参加したいと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

ＯＢ交歓会で現役生との交流

六月二十五日（日）、円山公園内「いふじ」に於いて、ＯＢ交歓会が開催されました。なごやかな雰囲気の中、お鍋を美味しく頂きました。

今年は、土井さんと高良さん二名の新入部員を迎えました。「先輩がとても優しくしてくださいます。」「お謡は難しいけれど、楽しいです。」と、目をキラキラ輝かせて語ってくれました。たくさんお稽古をして、外大能では素晴らしい仕舞を披露してくれることでしょう。楽しみですね。

毎年「電車の時間があるから、一次会だけでお暇しよう・・・。」と思いながら、気付けばミュンヘンでジョッキを片手にいい気分。久しぶりにＯＢ同士会えることもあり、つい長居してしまいます。

楽しい時間というのはあっという間ですね。

ご参加頂いたＯＢ・ＯＧの皆様、ありがとうございました。残念ながら今年は参加できなかった皆様、来年はぜひお会いできますように！



集合写真「いふじ」にて

【現役執行部の紹介】

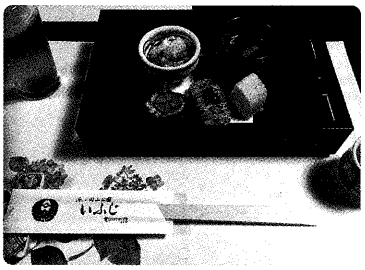
部長	村上円香
副部長	大垣愛満
渉外	板谷海緒
渉内・会計	藤原万由美
連盟委員	金光優衣
外大能実行委員	今池　良
情報宣伝	山本梨恵

ＯＢ懇親会と第九回花鏡の会「ゆかた会」開催！

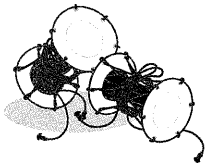
去る八月二十日に恒例のＯＢ懇親会及びゆかた会が「いふじ」にて開催されました。大変暑い日でしたが、久しぶりに京都に集まったメンバーで大学時代の部活の思い出話や舞台での失敗談などで盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

ゆかた会では、それぞれ練習してきた仕舞、地謡を発表しました。今年から参加してくださった方もいて、とても楽しい雰囲気で発表を終えることができました。現役の時のように練習時間を確保することは難しく、発表は緊張の連続でしたが、終わるとやはりやってよかったと思える会です。今年は、ゆかた会、懇親会ともに参加者が例年より少なかったので、来年は多くの方々に参加してもらえればと思っています。同じ部活をやってきた仲間と年代を超えて部活の話で盛り上がることができるとても貴重な時間になることと思います。

懇親会







ゆかた会

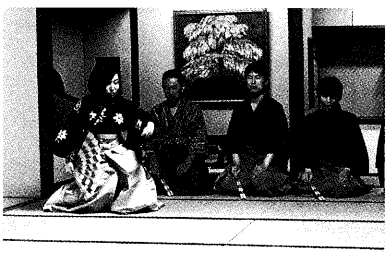












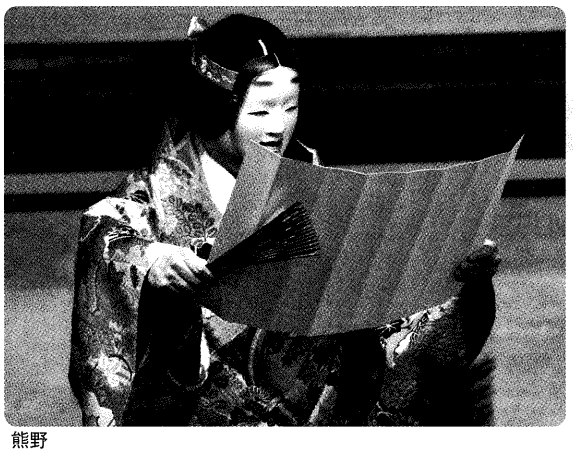






舞台鑑賞レポート

☆橋本忠樹先生独立十五周年・初舞台四十周年記念会
☆片山定期能九月公演


熊野

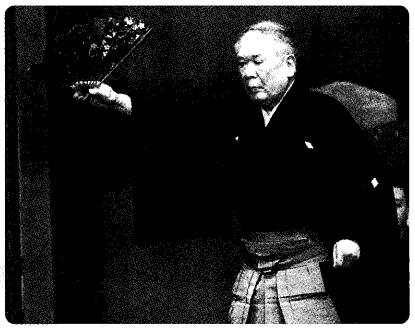
去る三月十九日（日）京都観世会館において、「橋本忠樹先生独立十五周年・初舞台四十周年記念会」が開催されました。昨年本紙でもご案内させていただき、多くの方がご来場されたかと思いますが、残念ながら様々なご事情で観能が叶わなかった方もいらっしゃるかと思います。

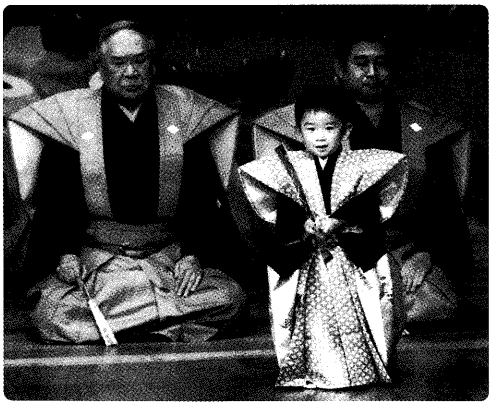

老松

忠樹先生から貴重なお写真の数々をご提供頂きまして、カラーで掲載できないのが大変残念ではありますが、ここでご紹介させていただきます。

礒道先生の仕舞『西行櫻』、忠樹先生の能『熊野』、そして忠樹先生のご長男和樹君（三歳）の初舞台仕舞『老松』。大変華やかで素晴らしい親子三代での初の舞台を拝見させて頂きました。

和樹君の初舞台では、あまりの可愛らしさと、大勢の観客に物怖じするどころか、大変嬉しそうに、そして楽しそうに舞われたお姿に、歓喜と感嘆の声が見所内に溢れました。

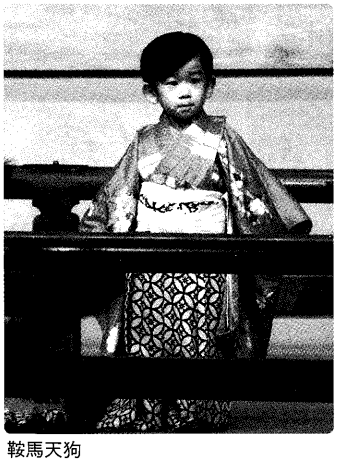

西行櫻


老松

忠樹先生も三歳の時、同じ仕舞『老松』で初舞台を踏まれたとのこと。当日頂いたパンフレットには当時のお写真のみならず、なんと礒道先生が三歳の時の初舞台、素謡『雲雀山』のお写真も掲載されており、大変なお宝写真の数々でありました。

また、九月二十三日（土）の片山定期能では礒道先生の　仕舞『柏崎道行』、忠樹先生の　能『鞍馬天狗』。和樹君も子方で出演されました。

先生方の、今後のご共演も大変楽しみです。


鞍馬天狗


鞍馬天狗前シテ

※掲載写真は、忠樹先生からご提供頂きました。

橋本忠樹先生「重要無形文化財総合指定」

「能楽」は昭和三十二年十二月四日に重要無形文化財に指定され、その保持者として社団法人日本能楽会会員が総合的に認定されます。

このたび、第十六次の新会員追加認定が行われ、橋本忠樹先生が「重要無形文化財総合指定」保持者として認定されました。

忠樹先生、誠におめでとうございます。



鞍馬天狗後シテ



大江山

忠樹先生平成三十年演能予定

一月二十一日（日）
於：京都観世会館
片山定期能1月公演
「能 葵上 梓之出」

六月一日（金）
於：平安神宮
京都薪能第1日目
「能 船弁慶 前後之替」後シテ

六月九日（土）
於：東京・梅窓院
梅窓院開山忌能楽奉納「半能 熊坂」

九月二十三日（日祝）
於：京都観世会館
京都観世会例会9月公演「能 雷電」

※掲載写真は、忠樹先生からご提供頂きました。

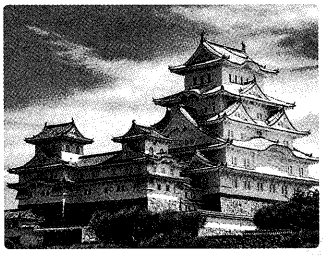
祝　橋本礒道先生 喜寿お祝い記念ツアーのお知らせ

会員の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

私たちの師匠 橋本礒道先生は、来年六月十七日、数えで七十七歳の誕生日を迎えられます。誠におめでたい、節目の年であります。

つきましては、喜寿のお祝いかたがた、いつもご指導頂きクラブを支えてくださることへの感謝の意を表したく、記念旅行を企画しております。

ご多用の折とは存じますが、是非多くの会員の皆様にご参加頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。



姫路城（イメージ）

【日時】平成三十年六月十六日～六月十七日

【行程】姫路城見学～有馬温泉宿泊翌日、神戸元町でランチ

両日とも都合のつかない方は、一日のみの参加でも構いません。現時点で右記予定をしておりますが、内容は変更することがあります。

※詳細につきましては改めてお知らせ致します。



有馬温泉（イメージ）

平成二十九年十二月九日(土)午後十三時始メ　於 河村能舞台

第五十四回 外大能 番組紹介(簡略)

和布刈　連吟　部員一同

龍田　キリ　仕舞　土井 亜香音

天鼓　仕舞　金光 優衣

融　仕舞　板谷 海緒

邯鄲　楽アト　藤原 万由美

鞍馬天狗　大垣 愛満

巻絹　キリ　仕舞　山本 梨恵

猩々　キリ　仕舞　高良 未香

賀茂　仕舞　増田 勝彦(ＯＢ)

敦盛　キリ　仕舞　森 皓平(ＯＢ)

蝉丸　仕舞　木村 与宣(ＯＢ)

鵺　舞囃子　井上 真一(ＯＢ)

吉野天人　舞囃子　今池 良

屋島　仕舞　藤原 敏起(ＯＢ)

野宮　仕舞　西村 文香(ＯＧ)

班女　舞アト　塚田 智恵(ＯＧ)

鉄輪　仕舞　土井 智代(ＯＧ)

野守　仕舞　島谷 直見(ＯＧ)

菊慈童　連吟　ＯＢ・ＯＧ ★

道明寺　番外仕舞　橋本 雅夫

枕之段　橋本 礒道

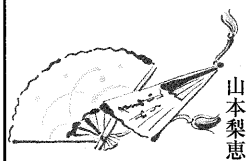
鵜飼　キリ　橋本 忠樹

巴　半能　村上 円香

後見　橋本擴三郎　橋本礒道

地謡　高良未香　大垣愛満　土井亜香音　山本梨恵

附祝言　木村与宣　橋本光史　橋本忠樹　井上真一



★ 多数のご参加をお待ちしています。足袋をご持参ください。

能楽部関連ホームページのご案内

『京都外国語大学能楽部』➡https://twitter.com/kufsnoh

能楽部の現役部員が管理しているツイッターです。現役部員の近況がアップされていて楽しいツイッターです。是非一度ご覧ください。

『観世流能楽師 橋本忠樹先生のHP』➡http://www.hashimoto-tadaki.jp/

能楽部講師　橋本忠樹先生のホームページです。能楽の解説をはじめ能楽界に関する様々なお話が分かり易く解説されています。徒然日記、先生の海外出張のご紹介など、忠樹先生の素顔や普段の多方面に亘ってご活躍されている一面を知ることが出来る興味深いホームページです。

会計局から会費納入のお願い

◎一般会員　8千円
◎夫婦会員　1万2千円

前年度分まで未納の方は本年度分と併せてお振り込みくださいます様お願い申し上げます。

[振込先]
☆郵便口座
００２８０－１－５２０７６
☆加入者名
京都外国語大学能楽部ＯＢ会

編集後記

今年もＯＢ会だよりが無事発行となりました。お忙しい中、原稿を執筆下さいました皆様そして貴重な写真を快くお貸し下さいました忠樹先生や会員の皆様に心より御礼申し上げます。

私事ではありますが、現在長野に住み京都からも能楽部からも離れています。そんな私がこうして、毎年ＯＢ会だより制作に携わらせて頂いている事に大変感謝しています。卒業してからも離れていてもつながりのある能楽部。このＯＢ会だよりが、皆様とＯＢ会の架け橋となる事を目指して参ります。

《ＯＢ会だより第54号》
◎編集責任者　唐木啓子
☆編集委員／藤原敏起・土井智代・鴨川愛子・栗山 藍・塚田智恵・橋口莉奈
◎発行責任者　島谷直見